

INTERSECTION

VOL.05



[インターTOMAS会員のための英語情報誌 インターセクション]

INTERSECTION [交差点]

英語の最新情報が行き交う

「交差点」のような雑誌をめざします。

FEATURE - 02

2019年度大学入試 合格体験談

PICK UP - 05

英語外部検定試験利用入試の
ポイント

英語力を活かして難関校合格！

2019 受験特集号

Congratulations!!



センター試験の
リスニングを
満点獲得！

苦手だった英語を
克服。
英検スコアをとって
優遇が受けられました。



立教大学 文学部

小柴 真央さん ○ 国立スクール

合格
慶應義塾大学法学部

森田 一君 ○ 横浜スクール

[2019年度大学入試 合格体験談]

英語力を武器に難関校合格！

インターTOMAS生には英語が得意な方も苦手な方もいます。インターTOMASでは生徒の個性に合わせ、学力や要望に応じたカリキュラムに沿って、志望校合格をめざします。本号では、慶應大法学部などへ合格した森田一君、立教大学文学部などへ合格した小柴真央さんに合格までの道のりを伺いました。



英検3級対策のため、 小6でインターTOMASへ入会

小学1年生の作文で「世界一周したい」と書くほど、海外への関心が高かった森田君。もともと英語の学習意欲も高く、インターTOMASに入会する以前から、通信教育教材で英語を勉強し、英検などにも積極的にチャレンジしていました。小5のときに英検5級、小6のときに英検4級を受検し、一回で合格しますが、3级以上は面接試験が課

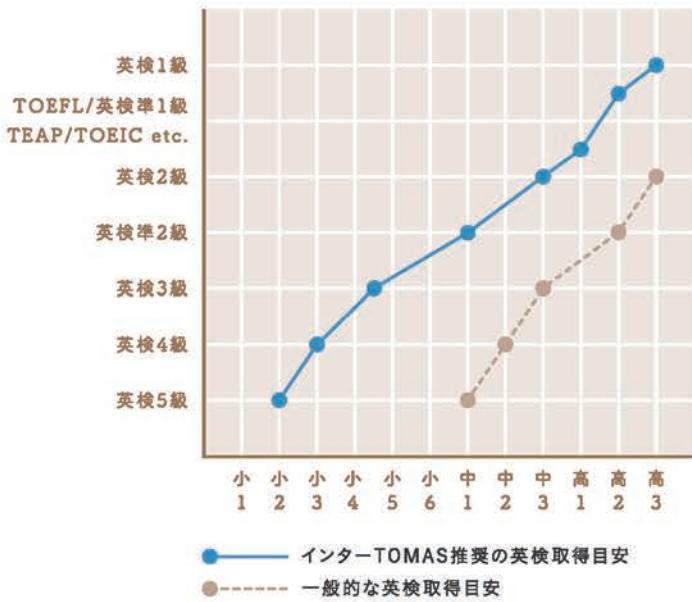
されるため、通信教材による独学だけでは厳しいと感じ始めました。そんなときに偶然インターTOMASのチラシを見て、インターTOMASに入会したいと自らご両親に訴えたそうです。

中学在学中に英検2級へ合格

インターTOMASに入会後、今まで不十分だった会話練習や面接対策を行い、中学入学直後に英検3級を受検

し、見事に合格します。学校の英語の成績も良く、学校の定期テストで苦労することはなかったそう。目標を高く持ち続け、中学校在学中に英検準2級や2級にもチャレンジしていきました。

それまで、ストレートで5級、4級、3級と合格してきた森田君でしたが、準2級の受験からは苦戦するようになったと言います。そのとき、インターTOMASの先生に指摘されたのは単語力不足。わからない単語の類推力や、英語の音を聞きとる力はあっても、意味を知らない単語が多くれば、英文の意味内容をとらえることはできません。それまで単語帳を使った勉強に苦手意識のあった森田君でしたが、先生に勧められた『英検準2級 文で覚える単熟語』(旺文社)を使ったり、ニュース記事からわからない単語をピックアップして覚え、単語力を強化していきました。そして、中1の1月受験で英検準2級、中3で2級に合格することができました。



大学受験を前にして

高校に進学すると、大学受験を意識するようになった森田君。英語は得意科目だったものの、科目ごとの学力にはむらがあり、偏差値は英語が常に63以上、数学・理科・国語が50程、世界史が約60と、波がありました。高校2年生の文系・理系の選択時に、森田君は文系を選択。受験科目を英語・国語・世界史にしぶり、得意科目を活かして難関大に合格できる戦略を探ることになります。

第1志望校を上智大学に決めるとき、インターTOMASの森先生からTEAPの受験を勧められます。上智大学のTEAP利用型入試では、事前のTEAPテストで基準スコアさえクリアてしまえば、当日の英語試験は免除となるため、入試科目を減らすことができます。TEAPスコアの有効期限は2年度。早めに合格基準のスコアを満たしてしまえば、その分、他の勉強に集中できるので有利だと判断しました。

TEAPテスト対策にかけた高2の夏休み

森田君は高2の9月に開催されるテストで合格基準スコアをとることを目標に、夏休みに集中特訓しようという計画を立てました。夏休み明けすぐにTEAPテストが控えているということもあり、高2の夏休みは勉強時間をほぼTEAPテスト対策にあてました。インターTOMASでの授業は週に3・4回。授業では、TEAP4技能のうち、SpeakingとWritingの練習を中心的に行いました。Speakingの練習では、先生の質問に対し、すぐにレスポンスできる練習や、1~2分程度のある程度長い時間、理論的に話し続ける練習を行いました。自分の伝えたいことを時間内ですべて話し切ると同時に、時間を余らせないようにするのは、なかなか難しかったとか。宿題で長文英作文の課題をこなし、授業ではその添削をもとにWritingの学習をするなど、「この時期は“食う・寝る・英語”だけの夏だった」そうです。

TEAP基準スコアをクリアし、さらなる難関校受験へチャレンジ

夏休み明けすぐにTEAPテストを受験した森田君。7割を突破する好成績を収めることができました。TEAPテストの基準スコアを取得し、第1志望だった上智大学の合格が見えた森田君は、さらに早慶にチャレンジすることに決めました。英語や社会の成績や勉強法には自信を持っていた森田君でしたが、国語は合格基準に届いていなかったため、高3の4月よりTOMASで国語(小論文)の授業を受講しました。要約・エッセイについては、英語の勉強で相当訓練していたので、英語と国語の共通性に気付いた後は楽しく自信を持って、国語の勉強に取り組めるようになったとか。高3になってからもインターTOMASでの英語は続けていましたが、受験勉強中心ではなく、あえてネイティブ講師との会話などを希望。イギリス人のAndy先生と世界史について英語で語り合うなど、森田君にとっては、貴重な受験勉強の息抜きの時間にもなっていましたようです。

これからも英語の勉強は インターTOMASで続けていきたい

慶應大学法学部へ進学した森田君。大学の授業では、かねてから興味のあったロシア語と中国語を選択しました。

「新しい外国語にチャレンジしてみたかったので英語はとりませんでした。もちろん英語の勉強は続けます。大学ではロシア語と中国語を学び、英語はインターTOMASで続けます」と語り、世界中のトイレを研究する夢や、自分の国家を立ち上げたいという野望を語ってくれました。



偏差値24からのスタート！

2019年度大学入試 合格体験談



小柴真央さんの

偏差値24からのスタート!
英検高得点合格で
大学入試を有利に

立教大学（文学部）

小柴 真央さん

合格

国立スクール
田中 勝先生

中 3

高 1

高 2

高 3

合格までの道のり

当然好きにもなれない。
超苦手科目。
英語は足を引っ張る。

英語偏差値 24 → 30

なぜか合格した
英検準2級。
勤が当たっただけ。

英検準2級合格

偏差値30台では
志望大学に手が
届かないことに気づく
から奮起

偏差値30後半

立教大に合格！
英語試験免除で

インター
TOMAS
へ入会

ずっと英語が苦手でした

中学3年生で英検3級、高校1年生で準2級を取得していたものの、「勤が当たっただけ」と語る小柴さん。模試での英語の偏差値は30程度で、悪い時には24前後だったと言います。国語の偏差値は約70、日本史は60後半を取り続けており、英語が完全に総合成績の足を引っ張っている状態でした。何とかして英語の克服をしたいと考えた小柴さんは、中学1年生が使う公文の教材を利用し、わからない単語をすべてノートに書き出し、間違えたところや不明点はテキストに印をつけるなどして学習してきました。3周くらい繰り返したところで、間違える箇所がいつも同じことに気付いたため、次はそこだけを重点的に学ぶという勉強に切り替え、少しずつ英語力を伸ばしていました。

大学受験を意識しはじめた高2の冬

高校2年生の冬ごろになると、だんだんと大学受験を意識するようになっていきました。日本文学研究を志し、国語・社会が得意だったため、受験科目を国語・社会・英語、志望校を私大の文学部に絞り、予備校の私大文系受験コースで集中的に受験勉強するようになります。

高校3年生の春には、英語の偏差値を30後半まで伸ばすことができたものの、依然として英語が足を引っ張っている状況には変わりありませんでした。そこで予備校の通常授業に加え、英語強化クラスへ参加し、受験勉強の大部分の時間を英語にあてることにしました。

インターTOMASでの対策で

英検2級を高得点で突破

高校3年生の4月からは、英検2級対策のために、インターTOMASにも通うことにしました。英検を高得点で合格できれば、大学受験でも有利になります。当日の英語試験の免除や、得点換算することで高得点が得られます。英検の特性をふまながら、特に苦手だった読解や語彙の強化を重点的に行い、6月に1次試験を突破、7月には2次試験も突破し、高得点で2級合格を収めることができました。夏以降は予備校の授業の予習・復習をメインにしながら、苦手な長文での失点を補うため、簡単な語彙・文法問題をミスなく解けるように反復学習しました。

小柴さんからアドバイス！

受験では、東洋、立教などに出願しましたが、英検2級を高得点合格していたことが非常にアドバンテージになりました。東洋の場合、当日の英語のテストは免除され、得点換算で10割の得点を与えられました。また、立教の場合、「グローバル方式」入試の基準を満たしていたため、得点換算はないものの、東洋と同様に英語試験免除を得られました。意外なほど多くの受験生が外部試験を利用しています。外部試験については、利用しなければ非常に不利になると思います。



英語外部検定試験 利用入試のポイント

2020年の大学入試制度改革の影響で、英語外部検定試験利用入試を実施する大学が急増しています。英検やTEAP、TOEICなど民間試験の英語資格を利用できる入試方式ですが、どのように利用するのか、受験生にとってどんなメリットがあるのかをご紹介します。

外部検定の主な利用方法



※上記の他にも、合否判定の際に何らかの優遇が行われる「判定優遇」もある。

外部検定利用入試のメリット

英語4技能評価である外部検定利用入試のメリットは3つあります。まず、「一発勝負ではないため、一番良いスコアを利用できる」こと。次に「基準スコア取得後は、他科目の勉強に専念することが可能」なこと。そして、英語の試験が免除される場合は「各大学・学部別の過去問対策をする必要がない」ことです。つまり、英語をいち早く仕上げてしまえば、大学入試を有利に進めることができるのです。

外部検定の利用方法

上記にも挙げたように、利用方法として主に3つあります。なかでも「出願資格」と「得点換算」の場合は、試験当日の英語試験が免除されることが多いのが、大きな特徴です。大学によって採用している入試方式や外部検定の種類も異なります。志望している大学や検討している大学が、どのように採用しているのか、事前に調べておくことをおすすめします。

＼ インターTOMASおすすめ ／

外部検定試験利用入試

英検やTOEIC、TOEFLなど、英語外部検定利用入試として採用される民間の資格・検定試験の中で、特にインターTOMASがおすすめする資格はTEAPです。

なぜTEAPをすすめるのか、その理由をお伝えします。

インターTOMAS
野口 徳之



英語外部検定利用入試のメリット

ある大手予備校の調査結果によると、難関大学合格者の学校を除いた勉強時間は高校3年間で“約4,000時間”、そのうち高3の勉強時間は約半分の“2,000時間”だったそうです。では、1科目当たり何時間の勉強時間に換算すると、例えば私立文系(3科目受験)を志望する場合、2,000時間を均一に配分すると1科目660時間費やすことになります。また、高3の4月から

受験までを10ヵ月とすると、1日当たり6.6時間の学習時間が必要になります。では、もしも高2の終了時点で必要な英語のスコアを獲得していたらどうでしょうか。高2よりも早い段階から対策をスタートして、高2でTEAPのスコアを取ってしまえば、有効期限は2年あるため、残りの時間を他教科の受験勉強に充てられます。英語は文系・理系関係なく、誰もが受験する科目です。外部英語検定利用試験をうまく活用して、受験を有利に進めていきましょう。

外部試験を活用すると、こんなに変わる！

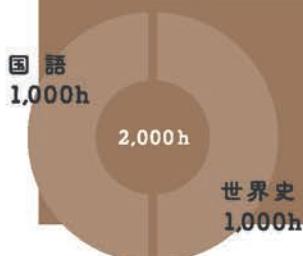
通常の3科目受験の場合

例えば私立文系志望と仮定すると、受験科目は3科目。下記の記述にある合格者の勉強時間目安である2,000時間を均一に配分すると、右図の通り、各科目に660時間費やすことになります。高3の4月から受験まで10ヵ月とを考えると、1日当たり6.6時間の学習時間が必要となる計算です。



もし、高2の終了時点で必要な ↓ 英語のスコアを獲得すると…

1 2科目集中で勝負！



英語が不要になった分を他科目に充当。1科目に費やす時間が1.5倍となり、一気に総仕上げが可能に。

2 勉強以外も大事！



英語が不要になった分を好きなことに充当。1日4.4時間の効率学習で志望校合格へ！

TEAP受験をすすめる理由

まず、TEAP(Test of English Academic Purposes)をおすすめする理由としては、日本の中高生に適したテスト内容・レベルでありながら、英語運用能力を正確に測定することができることです。TEAPは上智大学と公益財団法人日本英語検定協会が共同

で開発し、日本英語検定協会が実施している英語試験です。受験資格は高校2年生以上。テスト内容は、全て大学教育(留学も含む)で遭遇する場面を考慮して作成されており、アカデミックな英語を出題します。難易度の目安としては英検準2~準1級程度のため、他の試験にありがちなトピックが専門的すぎて分からぬといった心配はほぼありません。

TEAP利用大学

○ 千葉大学

学部：国芸・看護・教育・文・理・国際教養

○ 筑波大学

全学群

○ 青山学院大学

学部：総合文化政策・地域社会共生・文
コミュニティ人間科学・経営

○ 上智大学

国際教養以外の全学部

○ 明治大学

学部：政治経済・商・経営・総合数理・国際日本・農

○ 立教大学

Global Liberal Arts Programを除く全学部

○ 早稲田大学

学部：社会科学・文・文化構想

基幹理工創造理工・先進理工・人間科学

○ 金沢大学

全学域

※公益財団法人 日本英語検定協会より一部抜粋

本当に使える英語の習得を

そして、インターTOMASオリジナルのセミバイリンガル・メソッドは、まさにTEAP対策の勉強法そのものであることが、一番の理由です。セミバイリンガル・メソッドは、PR(加圧式音読)トレーニング・MS(マイストーリー)トレーニング・SR(スラッシュ・リーディング)・AW(オートマティック・ライティング)の4つのメソッドです。PRトレーニングで「聞く力」を、MSトレーニングで「話す力」、SRで「読む力」、AWで「書く力」と英語4技能を鍛えられるため、この4つのメソッドをベースに高1の約1年かけてTEAP対策を行い、目標スコアまで仕上げていくこと

が、インターTOMASでは可能です。

なかでも、SRは「本当に使える英語」を習得するための学習方法として、とても効果的です。SRは英文の意味上の区切りごとに“音読→和訳”を交互に繰り返していきます。日本文と英文では、文構造が反対になることが多い、“前から読む→後ろから和訳する”という手順で内容を理解してしまいますが、この方法では読み解きに時間がかかるうえに長文のリスニングに対応できません。聞こえてくる英文をその順番に沿って意味のまとまりごとに理解し、前から訳していくことで、効率のよい「読み」ができるようになります。SRを続けることで、単語や表現などの知識が定着し、リスニング力と同時にリーディング力も強化されます。

聞く力

加圧式音読トレーニング

負荷をかけた音読練習で
聞き取る力を鍛える

読む力

スラッシュリーディング

英語の語順のまま理解する
ことで速読力につける



マイストーリートレーニング

表現のレパートリーを増やし
話す力を高める

話す力

オートマティックライティング

文章パターンを習得し
論理的に書く力を養う

書く力

▶ 2019年度 インターTOMAS正会員 合格実績

大学受験

京都大学(文学部)	1名	青山学院大学(総合文化政策学部)	1名
慶應義塾大学(法学部)	1名	立教大学(文学部)	1名
早稲田大学(創造理工学部)	1名	立教大学(法学部)	1名
早稲田大学(国際教養学部)	1名	中央大学(法学部)	2名
上智大学(外国語学部)	3名	法政大学(文学部)	1名
学習院大学(法学部)	1名	東海大学(工学部 航空宇宙学科)	1名

高校受験

慶應義塾女子高等学校	3名	青山学院高等部	2名
国際基督教大学高等学校	1名	都立新宿高等学校	1名
早稲田実業学校高等部	1名	桐朋高等学校	1名

中学受験

開成中学校	1名	白百合学園中学校	1名
桜蔭中学校	1名	立教女学院中学校	1名
筑波大学附属駒場中学校	1名	成蹊中学校	5名
早稲田大学高等学院中学部	1名	開智中学校	1名
早稲田実業学校中等部	1名	郁文館中学校(グローバル特待生)	1名
巣鴨中学校	1名		

※インターTOMASに受験学年まで継続的に在籍し、正規の授業を受講した生徒の合格校の一部です。

2019年度入試を振り返って

難化傾向の大学入試

多様化する入試方式の活用を

今年度の大学入試は例年よりも難化傾向となり、多くの受験生にとって大変厳しい受験となりました。模試ではA判定だった生徒が、残念な結果で受験を終えたケースも少なくありません。このような事態が生じた原因と、皆さんのが今後どのように学習に取り組むべきか。

まず、大学入試が難化した要因は大きく二つ挙げられます。一つ目は「大学の定員管理厳格化」です。これは、学生数が定員を規定以上の割合で上回った場合、国からの補助金がなくなるという制度で2016年から始まりました。今年度はこの制度の基準が一層厳しくなったため、各大学が合格者の絞り込みを強化。さらに2018年から10年間、東京23区内の大学の定員増や学部増設の申請を不可とする施策も加わった結果、募集定員が同じでも合格者数が減り、実質的な合格ラインが引き上げられたのです。

そして二つ目の要因は「大学入学共通テスト」です。2021年1月から

インター
TOMAS
入試総括

インターTOMAS
ゼネラル・マネージャー
森秀和



導入されるこの新形式のテストは、現在のセンター試験から大きく傾向が変わるといわれています。このテストに変わる前に、合格を勝ち取るという受験生の安全志向が高まり、併願校受験者数が増加したため、結果として主要大学の難化となりました。

では、これから受験を控える皆さんはどのように受験に臨む必要があるのでしょうか。一般入試以外の推薦・AO入試など多様化する入試方式を最大限活用し、選択肢を増やしていくことが重要です。また、今回紹介した、英語外部試験利用入試もおすすめです。今年度は国立大や難関私立大を中心に一般入試で25%、推薦・AO入試で40%の大学が採用しました。現在、細かな議論は続いているが、多様化する入試方式の一つとして導入が進むことは間違いないでしょう。インターTOMASでは引き続き、独自メソッドを通じて、総合的な英語力と本質的な学習習慣を身につけていただき、受験を有利に進められるよう皆さんをサポートします。



| 池袋 03-3981-3769 | 市ヶ谷 03-5215-3769 | 荻窪 03-5347-3759
| 国立 042-580-1369 | 渋谷 03-3492-3759 [目黒スクール管轄]
| 目黒 03-3492-3759 | 大崎 03-6421-7636 | 横浜 045-317-3769

② <https://www.inter-tomas.com> ※本誌の無断転載を禁じます